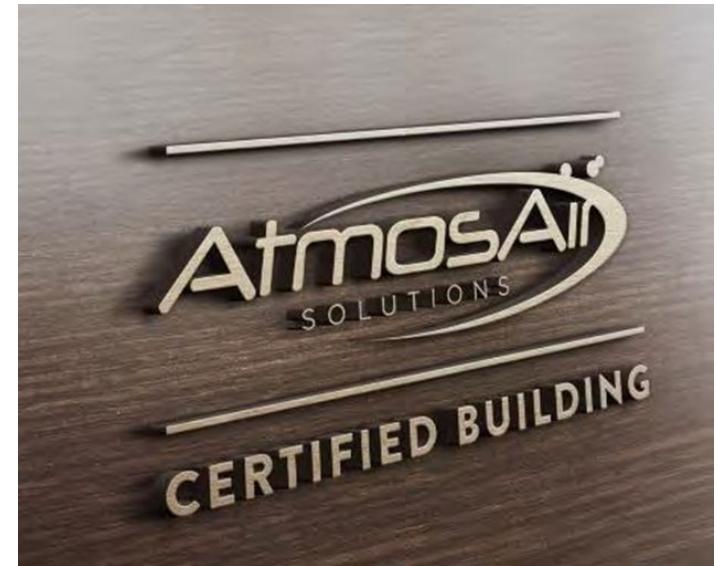


AtmosAirバイポーライオン空気浄化システム クルーズシップへの採用事例のご紹介

- ① Norwegian Cruise Line、Oceania Cruises、
Regent Seven Seas Cruises の全28隻
- ② Carnival Corporation 傘下の Regal Princess
- ③ Virgin Voyages
Scarlet Ladyなどの新造船



株式会社 S&AA 環境ソリューションズ



 採用事例①：ノルウェークルーズライン（NCLH）

- ・**対象船舶**：Norwegian Cruise Line、Oceania Cruises、
Regent Seven Seas Cruises の全28隻
- ・**導入技術**：AtmosAirバイポーライオン空気浄化システム
- ・**目的**：空中およびテーブルなどの表面における
COVID-19を含むウイルスやバクテリアなどの病原体の不活性化
- ・**効果**：Microchem Laboratoryの試験で、30分以内にコロナウイルスを
99.92%不活性化することが確認されました。
- ・**特徴**：化学薬品や副産物を使わない自然な浄化方式
：空調システムを通じてイオンを放出し、空間内で直接ウイルスを
不活性化



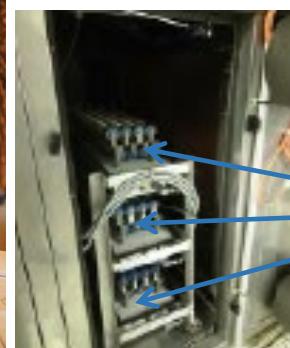
採用事例②：Carnival Corporation 奎下の Regal Princess

- ・船名：Regal Princess（ロイヤルクラスのクルーズ船）
- ・運航会社：Princess Cruises（Carnival Corporation & plc の子会社）
- ・導入時期：2018年10月
- ・導入エリア：カジノ、ジム、シガーラウンジ、クルーキャビン
- ・導入技術：AtmosAir バイポーライオン空気浄化システム
- ・効果：導入から10日後のバクテリア検出率：0% (ND=Not Detectable)
：空気中の細菌・ウイルスの大幅な減少が確認されました

この事例は、クルーズ船のような密閉空間での空気質改善において、AtmosAirがどれほど効果的かを示す好例です。
特にカジノやシガーラウンジのような空気環境が悪化しやすいエリアへの導入は、乗客の快適性と健康を守るうえで重要な施策と言えます。



空調機内に設置されたAtmosAir 508FC設置状況



採用事例③：ヴァージン・ボヤッジュ (Virgin Voyages)

- 対象船舶：Scarlet Ladyなどの新造船
- 導入内容：「船首から船尾まで」AtmosAirバイポーライオン
空気浄化システムを導入
: Kaiterra社の空気質モニタリングシステムと連携
- 目的：乗客と乗員の健康と安全を確保し、クルーズ旅行への信頼を回復
- 特徴：100%フレッシュエアの供給
空気中のウイルスや有害物質をリアルタイムで監視・除去



これらの事例は、クルーズ業界がパンデミック後の安全対策として空気の質の改善に本格的に取り組んでいることを示しています。特に密閉空間での感染リスクを軽減するために、AtmosAirのようなアクティブな空気浄化技術が注目されています。